



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月6日

上場会社名 セントラルスポーツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4801 URL <https://www.central.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 後藤 聖治
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 安部 宏 TEL 03-5543-1803
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	32,473	8.9	1,221	25.3	848	△50.5	447	△52.7
2022年3月期第3四半期	29,827	15.9	974	305.4	1,715	—	945	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 662百万円 (△34.4%) 2022年3月期第3四半期 1,008百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	39.97	—
2022年3月期第3四半期	84.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	42,739	23,642	55.3	2,110.05
2022年3月期	44,777	23,540	52.5	2,100.70

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 23,633百万円 2022年3月期 23,529百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	29.00	41.00
2023年3月期	—	21.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,000	11.6	2,000	31.8	1,500	△42.2	900	△41.6	80.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	11,466,300株	2022年3月期	11,466,300株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	265,661株	2022年3月期	265,661株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	11,200,639株	2022年3月期3Q	11,200,639株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

業績予想の前提条件及びその他関連する事項については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス（以下「感染症」）の下、多くの国で経済活動が正常化され景気回復の傾向がみられましたが、ロシア・ウクライナ問題や感染症拡大、急激な円安や原材料費の高騰等により国内の経営環境は先行き不透明な状況が続きました。

当フィットネス業界におきましては、感染症や消費者心理の冷え込み等による入会者数及び利用者数の伸び悩みや、水道光熱費をはじめとした物価高騰等により厳しい経営環境が続いています。しかしながら健康への意識や運動ニーズは引き続き高まっており、社会的にも重要な役割を果たしていくことが期待されています。

このような状況の中、当社グループは経営理念である『0歳から一生涯の健康づくりに貢献する』の下、顧客満足度の向上に資する新たな価値の創造を目指し、空調換気環境の整った施設の提供と指導力・接客力の向上に努めてまいりました。

店舗数は変わらず、第3四半期連結会計期間末で直営182店舗、業務受託60店舗、合計242店舗となっております。なお、12月末に直営店「スタジオヨガピス平野店」（大阪市平野区）の運営を終了しました。（店舗数は12月末営業終了店舗を含む）

会員動向については、感染症の影響を受けながらも経済活動が徐々に正常化に向かっていることもあり、全体の会員数は前年比100.2%となりました。

店舗運営については、感染症以前より据え置いていたフィットネス会員の月会費を10月に改定しました。また、十分な感染予防対策の下で大きなイベントや宿泊を伴うツアーを全国的に再開しました。感染症対応の事業継続計画（BCP）に基づいたオンライン事業の拡充や店舗運営の効率化などは引き続き推進するとともに、ホームページ及びSNSを活用したブランド価値向上や子供向けサービスの拡充に取り組みました。法人向けには様々なライフスタイルに対応できるよう24時間利用可能なセルフ店舗などの利用を開始しました。

その他、有人宇宙システム株式会社（JAMSS）が国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）から受注した契約業務「ISS日本人宇宙飛行士健康管理運用業務」の運動・生理的対策業務へ参加し、日本人宇宙飛行士の最大酸素摂取量測定を担当しています。この測定は当社独自の研究機関であるセントラルスポーツ研究所が実施しています。

SDGsへの取り組みとしては、スポーツ庁委託事業「Sport in Life推進プロジェクト」において、千葉市、（公財）千葉市スポーツ協会、順天堂大学の協力の下「インクルーシブ“共泳”教室」をスタートし、障がいのある幼児・児童が日常的に水泳を楽しむ環境づくりを目指しています。

所属選手につきましては、10月に開催された第51回世界体操競技選手権大会（イギリス）で谷川航・谷川翔が男子団体で銀メダル、谷川航が個人総合で銅メダルを獲得、12月の第16回FINA世界水泳選手権大会25m（オーストラリア）には3名が出場し、小堀倭加が400m個人メドレーで銅メダルを獲得しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は32,473百万円（前年同期比8.9%増）、経常利益は848百万円（前年同期比50.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は447百万円（前年同期比52.7%減）となりました。減益については、安全な運営の為の施設管理費及び水道光熱費等の高騰が主な要因になります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,038百万円減少し、42,739百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金、売掛金が減少したこと等により流動資産が1,201百万円減少し、減損損失等による有形固定資産の減少、及び敷金及び保証金の減少等により、固定資産が836百万円減少したことによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,140百万円減少し、19,097百万円となりました。その主な要因は、流動負債のその他に含まれる未払法人税等、未払消費税等及び1年内返済予定の長期借入金の減少等により流動負債が543百万円減少し、長期借入金の減少等により固定負債が1,597百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、23,642百万円となりました。この結果、自己資本比率は、55.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、安全な運営の為の施設管理費及び資材価格の高騰等による水道光熱費の上昇が想定を上回る水準での推移を続けていることを踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年2月6日）公表いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,209	8,222
受取手形及び売掛金	1,409	1,161
商品	242	230
貯蔵品	54	51
その他	867	915
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	11,782	10,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	32,888	33,078
工具、器具及び備品	5,656	5,874
土地	7,990	8,103
リース資産	6,984	7,022
その他	66	69
減価償却累計額	△32,848	△34,032
有形固定資産合計	20,737	20,115
無形固定資産	451	436
投資その他の資産		
繰延税金資産	551	476
敷金及び保証金	10,305	10,203
その他	998	975
貸倒引当金	△49	△48
投資その他の資産合計	11,806	11,607
固定資産合計	32,995	32,158
資産合計	44,777	42,739

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102	77
1年内返済予定の長期借入金	1,974	1,842
賞与引当金	117	217
契約負債	3,225	3,660
その他	4,907	3,986
流動負債合計	10,328	9,785
固定負債		
長期借入金	3,865	2,485
リース債務	4,882	4,589
退職給付に係る負債	124	124
資産除去債務	1,551	1,577
その他	485	535
固定負債合計	10,909	9,311
負債合計	21,237	19,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261	2,261
資本剰余金	2,273	2,273
利益剰余金	19,574	19,461
自己株式	△623	△623
株主資本合計	23,484	23,372
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	34
為替換算調整勘定	7	226
その他の包括利益累計額合計	44	261
非支配株主持分	11	8
純資産合計	23,540	23,642
負債純資産合計	44,777	42,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	29,827	32,473
売上原価	26,541	28,933
売上総利益	3,285	3,539
販売費及び一般管理費	2,310	2,318
営業利益	974	1,221
営業外収益		
受取利息	5	8
補助金収入	281	0
受取補償金	825	0
保険配当金	12	15
受取保険金	10	7
その他	74	30
営業外収益合計	1,209	62
営業外費用		
支払利息	463	434
その他	5	0
営業外費用合計	469	435
経常利益	1,715	848
特別損失		
減損損失	93	95
店舗閉鎖損失	17	—
投資有価証券評価損	11	—
関係会社株式評価損	22	—
特別損失合計	145	95
税金等調整前四半期純利益	1,569	753
法人税、住民税及び事業税	351	224
法人税等調整額	272	83
法人税等合計	624	308
四半期純利益	945	445
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	447

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	945	445
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△1
為替換算調整勘定	57	218
その他の包括利益合計	63	216
四半期包括利益	1,008	662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,009	664
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大に伴う会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。